

新しい介護施設をつくってください

(50歳代男性)

同居する親の体調が良くないため介護施設への入居申込をしていますが、1年待っても入れない状況です。今後入居を希望する方はますます増えることと思います。新しい介護施設をつくってください。

市内には「暢寿園」と「やまとの里」の2か所の特別養護老人ホームがあります。特別養護老人ホームは、介護施設のうち、介護度が高く家族などといっしょに自宅で暮らすことが困難な高齢者の住まいです。

特別養護老人ホームは、介護保険の要介護などに認定された65歳以上の方であれば、どなたでも申し込むことができます。現在、入居を希望する方が多く、入居待ちの期間もたいへん長い期間となっています。

また、入居は必ずしも申込順ではなく、介護の必要性や緊急性が高い方を優先しています。このため、高齢者の中でも特に年齢の高い方が入居者の大半を占める状況となっています。

国は、高齢者が安心して暮らすことができるよう、また、介護度や希望するサービスにあわせて住まいを選択できるように、制度の見直しを進めています。

高齢化が今後ますます進むと予想されます。市は、入居待機者を一人でも減らせるよう、特別養護老人ホームなど、入居施設やグループホームを充実させてまいります。



●地区ごとの「市長への手紙」件数

千歳 コミセン地区	5通
中心街 コミセン地区	3通
北新 コミセン地区	1通
北桜 コミセン地区	11通
鉄東 コミセン地区	1通
祝梅 コミセン地区	5通
北信濃 コミセン地区	4通
富丘 コミセン地区	4通
向陽台 コミセン地区	5通
末広・花園 ・稲穂地区	4通
北光・北陽・ 長都駅前地区	4通
清流・ 幸福地区	3通
西部地区	5通
その他	1通
不明	…… 24通

苔の洞門を 見学できるように してください



(70歳代男性)

苔の洞門は立入禁止が続いており、すばらしい観光資源が眠ったままになっています。ぜひ見学できるようにしてください。

苔の洞門は、平成13年に洞門内部が崩落し、来訪者の安全を守るために立ち入りを禁止しています。その後、平成18年に大規模な崩落があったため、現在も立入禁止が続いています。

エビゴケ、チョウチンゴケ、オオホウキゴケなど約30種のコケが群生する苔の洞門は、学術的に貴重な場所であるとともに、千歳の大切な観光資源です。

市は、再開の可能性を検討するため、専門機関の協力による地質調査を行い、崩落の仕組みなどを調査しています。

また、平成21年度から今後の開放に向けた試行的な取組として、迂回路を通過して洞門の内部を歩く実施調査をしています。

開放や見学については、来訪者の安全と観光資源である苔の洞門の保護を考え、実施調査の結果や専門家の意見を元に、関係機関や団体で構成する「苔の洞門運営協議会」で協議をしております。